

キャラクター名
百鬼 終(なきり しゅう)

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン ノイマン		ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	UGNエージェント
	オプショナル		年齢	26	性別	女
覚醒	感染	衝動	吸血	初期侵食率	31	%
出自	疎まれた子	経験	心の壁	邂逅	自身	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	1	0	0			1	行動値	7
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	7
精神	4	1	0			5	戦闘移動	12
社会	2	0	0			2	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:レネゲイド	3		情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
妖刀「□椽」	白兵	5r+3	4	10		上級P66
	白兵	7r+3		15		CR+コソ 6
100%	白兵	10r+3				
	白兵	7r+3		15		CR+コソ+一閃 8

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ウェポンケース	
思い出の一品(下紐)	
コネ:UGN幹部	
コネ:研究者	
コネ:情報屋	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
達人 "アダプト"	P	N		
曾祖父	P 尊敬	N 恐怖		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ライトスピード 1	1	5	マイナ	至近	自身	自動	100%	
効果: Xジャー2回行動 C値+1 シリ1回 EAP77								
インスピレーション 3	1	2	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果: GMに直接質問する シリLV回 EAP89								
CR:ノイマン 3	3	2	Xジャー	-	-	対決	-	
効果: 組み合わせた判定のC値-LV EAP129								
コントロールソート 1	1	4	Xジャー	武器	-	対決	-	
効果: 〈白兵〉を【精神】で判定 EAP90								
一閃 1	1	2	Xジャー	武器	-	対決	-	
効果: 全力移動後白兵攻撃 離脱不可 EAP73								
鮮血の旋風 3	1	5	Xジャー	至近	範囲(選択)	対決	吸血/120%	
効果: 範囲変更 与ダメージで邪R5 シリLV回 RUP19								
ラストアクション 1	1	5	オート	至近	自身	自動	100%	
効果: 戦闘不能直後に使用 MPを行う シリ1回 EAP94								
超越者の眼力 3	1	1	Xジャー	至近	範囲(選択)	自動	-	
効果: ワーディングが効く非オーヴァードにのみ使用可 EAP100にする シリLV回 EAP								
真偽感知 1	1	2	Xジャー	視界	単体	自動	-	
効果: 嘘を吐いているか見抜く EAP79								
代謝制御 1	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 脳神経をコントロールし代謝機能を掌握する EAP95								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

UGN霧江市支部に所属するオーヴァード。

父方の実家が剣道場だったため、幼い頃から剣道の心得があった。元々の才能も手伝ってか、同年代を凌駕する圧倒的なスピードで習得していき、家族内でも大きな期待をかけられていた。中でも曾祖父からの期待は大きく、当時既に引退している身であったにも拘らず自らが彼女に教えるために竹刀を持つほど熱心に教育を施していた。

そんな日が続く中、彼女にとっての転機が訪れる。18歳になりたての頃、いつものように彼に稽古をつけてもらっていたとき、突然彼の体内から刀が現出し、明確な殺意をもって斬りかかってきた。後に分かったことだが、曾祖父はオーヴァードであり、若い頃力で捻じ伏せ、自身の体内に取り込むことで制御していた人斬り刀(EXレネゲイドに感染したジャム化した刀)の力を老衰により抑え切れなくなってしまったが故の行動であった。

幸いにも——不幸にもと言った方が正しいか——彼女はオーヴァードの血を浴びたことにより覚醒し、一命を取りとめることになる。彼女と刀だけが遺された空間の中、元主の血と混ざりあった彼女を次なる主、寄生先と見とめ、彼女の身体の一部として吸収されることとなった。

———

一人称「私」二人称「貴方」三人称「(名字)」。若干男性的な喋り口調なのが特徴。

あまり感情を表に出す方ではないため、周囲に冷たい印象を与えがちで、それ故に任務以外で人と話すことは稀。本人も自覚はしているが、仕事仲間と馴れ合う必要性を感じていないため、結果的に任務外で孤立する流れを助長してしまっている。顔に出ないだけで感情の起伏は豊か。エージェントとしての実力は確かで、信頼は厚い。

瞳が三白眼気味でキツイ印象を与えがち。長い黒髪を低い位置で一本に縛っている。前髪は短めで任務中の機動力に支障が出ないように気を配っている。服装はパンツスーツが殆どで、ジャケットの丈が長めのものを着るのが拘り。

好きなものは激辛系の食べ物。嫌いなものは大きな夢を語る人間。苦手なものは食べない態度を取られること。